

## 微生物学

### 著書

- 1) 富岡治明: 抗酸菌の細菌学的診断. Annual Review 2005 呼吸器, 工藤翔二, 土屋了介, 金沢 実, 大田 健 編, 中外医学社, 東京, 178-188, 2005.
- 2) 富岡治明: 抗酸菌薬剤感受性試験 (結核菌薬剤感受性試験). LAB DATA 臨床検査デ・タブック 2005-2006 年版, 高久史麿 監修, 黒川 清, 春日雅人, 北村 聖 編, 医学書院, 東京, 446-451, 2005.
- 3) 富岡治明: ナイアシンテスト. LAB DATA 臨床検査デ・タブック 2005-2006 年版, 高久史麿 監修, 黒川 清, 春日雅人, 北村 聖 編, 医学書院, 東京, 453-454, 2005.
- 4) 富岡治明: 抗酸菌薬剤感受性試験 (結核菌薬剤感受性試験). LAB DATA 臨床検査デ・タブック コンパクト版 第 3 版, 高久史麿 監修, 黒川 清, 春日雅人, 北村 聖 編, 医学書院, 東京, 234-242, 2005.
- 5) 富岡治明: ナイアシンテスト. LAB DATA 臨床検査デ・タブック コンパクト版 第 3 版, 高久史麿 監修, 黒川 清, 春日雅人, 北村 聖 編, 医学書院, 東京, 242-243, 2005.
- 6) 富岡治明: マイコバクテリウム, アクチノミセスとノカルジア. シンプル微生物学 改訂第 4 版, 東 匡伸, 小熊恵二 編, 南江堂, 東京, 167-177, 2006.

### 学術論文

- 1) 富岡治明: [総説] 抗酸菌の細菌学. 化学療法の領域 21:166-175, 2005.
- 2) Shimizu T, Cai SS, Tomioka H: Roles of reactive nitrogen intermediates and transforming growth factor- $\beta$  produced by immunosuppressive macrophages in the expression of suppressor activity against T cell proliferation induced by TCR stimulation. Cytokine 30:7-13, 2005.

- 3) 富岡治明 (日本結核病学会抗酸菌検査法検討委員会): 検査センターを対象とした結核菌薬剤感受性試験外部精度アセスメント. 結核 80:349-358, 2005.
- 4) 富岡治明, 佐藤勝昌, 清水利朗, 佐野千晶: [総説] 抗酸菌感染症の免疫補助療法. 日本細菌学雑誌 60:445-452, 2005.
- 5) Tomioka H: Development of new antituberculous drugs: strategies for new drug targets and drug delivery. Drug Design Reviews-Online 2:427-434, 2005.
- 6) Sato K, Shimizu T, Sano C, Tomioka H: Effects of type II alveolar epithelial cells on T cell mitogenic responses to concanavalin A and purified protein derivatives. Microbiology and Immunology 49:885-890, 2005.
- 7) 富岡治明 (日本結核病学会 抗酸菌検査法検討委員会): 結核菌検査に関するバイオセーフティマニュアル 2005年- 第1版. 結核 80:499-520, 2005.
- 8) Tomioka H, Sano C, Sato K, Ogasawara K, Akaki T, Sano K, Cai SS, Shimizu T: Combined effects of ATP on the therapeutic efficacy of antimicrobial drug regimens against *Mycobacterium avium* complex infection in mice and roles of cytosolic phospholipase A<sub>2</sub>-dependent mechanisms in the ATP-mediated potentiation of antimycobacterial host resistance. Journal of Immunology 175:6741-6749, 2005.
- 9) 富岡治明、清水利朗、佐藤勝昌、佐野千晶: マクロファージ内に局在する *Mycobacterium avium* complex に対する諸種抗菌剤の抗菌活性発現に及ぼすピコリン酸の作用に関する研究. 乳酸菌研究会に関する報告書 (平成 16 年度): 503-507, 2005.
- 10) 富岡治明 (日本結核病学会抗酸菌検査法検討委員会): 抗酸菌検査の精度管理 (4) -検査センターを対象とした結核菌薬剤感受性試験の外部精度アセスメント-. 結核 81:25-26, 2006.
- 11) Cai SS, Sato K, Shimizu T, Yamabe S, Hiraki M, Sano C, Tomioka H: Antimicrobial activity of picolinic acid against extracellular and intracellular *Mycobacterium avium* complex and its combined activity with clarithromycin, rifampicin, and fluoroquinolones. Journal of Antimicrobial Chemotherapy 57:85-93,

2006.

12) 佐藤勝昌, 佐野千晶, 清水利朗, 富岡治明: *Mycobacterium avium* に対するマクロファージの殺菌能における抗菌薬とキチン・キトサン・キトサンオリゴ糖の併用効果. 日本化学療法学会雑誌 54:39-42, 2006.

13) 富岡治明, 清水利朗: [総説] 結核化学療法の今後は明るいのか?. 最新医学 61:249-257, 2006.

14) Cai S, Shimizu T, Tomioka H: Comparative studies on the roles of mediator molecules in expression of the suppressor activity of *Mycobacterium avium* complex-induced immunosuppressive macrophages against T cell and B cell mitogenic responses. Clinical and Experimental Immunology, 143:560-571, 2006.

15) Tomioka H: [Review] Current status of some antituberculosis drugs and the development of new antituberculous agents with special reference to their in vitro and in vivo antimicrobial activities. Current Pharmaceutical Design 12:4047-4070, 2006.

16) Sato K, Shimizu T, Dimova V, Tomioka H: Antimicrobial activities of cinnamyl rifamycin derivatives, T-9 and T-11, against *Mycobacterium tuberculosis* and *Mycobacterium avium* complex (MAC) with special reference to the activities against intracellular MAC. Microbiology and Immunology, 50:621-623, 2006.

17) Shimizu T, Tomioka H: Activity of picolinic acid in combination with an antiprotozoal drug quinacrine against *Mycobacterium avium* complex. Antimicrobial Agents and Chemotherapy 50:3186-3188, 2006.

18) 富岡治明, 佐藤勝昌, 佐野千晶, 清水利朗: 難治性抗酸菌症の治療のための新レジメンの開発に向けてのプロバイオティクス・プレバイオティクス・健康食品の利用に関する研究. 乳酸菌研究会に関する報告書(平成17年度): 455-458, 2006.

19) 富岡治明, 難波憲司: [総説] 抗結核薬開発の現況と展望. 結核 81: 753-754, 2006.

20) 清水利朗, 佐藤勝昌, 富岡治明: [総説] 抗酸菌感染症の免疫補助療法. 結

核 81: 767-772, 2006.

#### 学会発表

- 1) 清水利朗, 佐藤勝昌, 佐野千晶, 佐野啓介, 山部清子, 富岡治明: MAC 感染に対する各種免疫調節剤の抗菌薬との併用効果の検討. 第 55 回日本結核病学会中国四国支部会, 米子, 2005 年 2 月.
- 2) 清水利朗, 佐藤勝昌, 蔡 杉杉, 佐野千晶, 山部清子, 富岡治明: マクロファージ内局在 MAC に対するキノロン薬とピコリン酸の併用効果. 第 55 回日本結核病学会中国四国支部会, 米子, 2005 年 2 月.
- 3) 佐野千晶, 佐野啓介, 佐藤勝昌, 清水利朗, 富岡治明: [ワークショップ] マクロファージの抗 *M. avium* complex 抗菌活性発現に対する抗菌薬の阻害作用について. 第 78 回日本細菌学会総会, 東京, 2005 年 4 月.
- 4) 清水利朗, 佐野千晶, 佐藤勝昌, 蔡 杉杉, 山部清子, 富岡治明: ピコリン酸のマクロファージの抗 *M. avium* complex 活性増強作用. 第 78 回日本細菌学会総会, 東京, 2005 年 4 月.
- 5) 蔡 杉杉, 佐野千晶, 清水利朗, 佐藤勝昌, 富岡治明: [ワークショップ] 抗酸菌で誘導される免疫抑制性マクロファージの標的 B 細胞に対するサプレッサー活性発現メカニズム. 第 78 回日本細菌学会総会, 東京, 2005 年 4 月.
- 6) 佐藤勝昌, 清水利朗, 佐野千晶, 佐野啓介, 富岡治明: *Mycobacterium avium* complex 感染に対する各種免疫調節剤の抗菌薬との併用効果の検討. 第 79 回日本感染症学会総会, 名古屋, 2005 年 4 月.
- 7) 佐野千晶, 佐野啓介, 佐藤勝昌, 清水利朗, 富岡治明: マクロファージの抗 *M. avium* complex 殺菌メカニズムに及ぼす抗結核薬の影響. 第 79 回日本感染症学会総会, 名古屋, 2005 年 4 月.
- 8) 清水利朗, 佐藤勝昌, 佐野千晶, 蔡 杉杉, 富岡治明: ピコリン酸のマクロファージならびに II 型肺胞上皮細胞での抗 *M. avium* complex 活性増強作用. 第 79 回日本感染症学会総会, 名古屋, 2005 年 4 月.

9) Tomioka H, Shimizu T, Sato K, Sano C: Potentiation of anti-*Mycobacterium avium* antimicrobial activity of host macrophages by picolinic acid in combination with antimycobacterial drugs. 5th International Symposium on Antimicrobial Agents and Resistance, Seoul April 2005.

10) Shimizu T, Sato K, Sano C, Tomioka H: Effects of the Chinese traditional medicines Kakkon-to, Hochu-ekki-to, and Juzen-taiho-to on the antimicrobial activity of clarithromycin in combination with rifampicin against *Mycobacterium avium* complex within THP-1 human macrophages and A-549 human type II alveolar epithelial cells. 5th International Symposium on Antimicrobial Agents and Resistance, Seoul, April 2005.

11) 富岡治明: [ランチョンセミナー] 抗酸菌症治療薬としてのキノロンの有用性～特に基礎の立場から～. 第80回日本結核病学会総会, さいたま, 2005年5月.

12) 佐藤勝昌, 清水利朗, 佐野千晶, 山部清子, 富岡治明: マクロファージ内MAC菌に対するCAM/RFPの抗菌活性に及ぼす諸種漢方薬, キチン, キトサンの作用. 第80回日本結核病学会総会, さいたま, 2005年5月.

13) 佐野千晶, 佐野啓介, 佐藤勝昌, 清水利朗, 富岡治明: 抗酸菌症治療薬とマクロファージの抗MAC殺菌メカニズムとの相互作用について. 第80回日本結核病学会総会, さいたま, 2005年5月.

14) 清水利朗, 蔡 杉杉, 佐藤勝昌, 佐野千晶, 富岡治明: MAC誘導免疫抑制性マクロファージのB細胞に対するサプレッサー活性発現メカニズム(第1報). 第80回日本結核病学会総会, さいたま, 2005年5月.

15) 富岡治明: マクロファージ内に局在する *Mycobacterium avium complex* に対する諸種抗菌剤の抗菌活性発現に及ぼすピコリン酸の作用に関する研究. 平成17年度中四国乳酸菌研究会総会, 岡山, 2005年5月.

16) 富岡治明, 佐野千晶, 佐藤勝昌, 清水利朗: ATPによるマクロファージの抗MAC抗菌活性の増強とそのメカニズム. 第33回結核・非定型抗酸菌症治療研究

会，東京，2005年6月。

17) 佐藤勝昌，清水利朗，佐野千晶，富岡治明：T細胞の増殖性応答に及ぼす結核菌感染あるいは非感染II型肺胞上皮細胞の影響。第58回日本細菌学会中国・四国支部総会，高知，2005年10月。

18) 清水利朗，佐藤勝昌，佐野千晶，蔡 杉杉，山部清子，富岡治明：ピコリン酸によるマクロファージの抗 *M. avium* complex 活性増強メカニズム。第58回日本細菌学会中国・四国支部総会，高知，2005年10月。

19) 蔡 杉杉，清水利朗，富岡治明：抗酸菌で誘導される免疫抑制性マクロファージの標的B細胞に対するサプレッサー活性発現メカニズム(第2報)。第58回日本細菌学会中国・四国支部総会，高知，2005年10月。

20) 佐藤勝昌，佐野千晶，清水利朗，富岡治明：各種漢方薬とキチン・キトサンのマクロファージ内局在 *Mycobacterium avium* complex に対する効果。第75回日本感染症学会西日本地方会総会，長崎，2005年11月。

21) 佐野千晶，佐藤勝昌，清水利朗，富岡治明：中葉・舌区型と結核類似型の *Mycobacterium avium* 症患者よりの分離菌株のマクロファージ内増殖能について。第75回日本感染症学会西日本地方会総会，長崎，2005年11月。

22) 富岡治明，清水利朗，蔡 杉杉，佐藤勝昌，佐野千晶：MAC感染で誘導される免疫抑制マクロファージのB細胞マイトジェネシスに及ぼす作用について(第2報)。第34回結核・非定型抗酸菌症治療研究会，東京，2005年12月。

23) 佐藤勝昌，清水利朗，山部清子，富岡治明：MAC感染に対する漢方薬とキチン・キトサンの抗菌薬との併用効果の検討。第56回日本結核病学会中国四国支部会，高知，2006年2月。

24) 佐藤勝昌，清水利朗，富岡治明：結核菌感染あるいは非感染II型肺胞上皮細胞のT細胞増殖性応答に及ぼす影響。第79回日本細菌学会総会，金沢，2006年3月。

25) 清水利朗，蔡 杉杉，佐藤勝昌，佐野千晶，富岡治明：免疫抑制性マクロファージの標的B細胞に対するサプレッサー活性発現における活性酸素分子種

の役割. 第 79 回日本細菌学会総会, 金沢, 2006 年 3 月.

26) 佐野千晶, 佐藤勝昌, 清水利朗, 富岡治明: マクロファージ内における中葉・舌区型と結核類似型の *Mycobacterium avium* の増殖能について. 第 80 回日本感染症学会総会, 東京, 2006 年 4 月.

27) 蔡 杉杉, 清水利朗, 佐野千晶, 佐藤勝昌, 富岡治明: 免疫抑制性マクロファージの標的 B 細胞に対するサプレッサー活性発現におけるメディエーターの検討. 第 80 回日本感染症学会総会, 東京, 2006 年 4 月.

28) 佐藤勝昌, 清水利朗, 佐野千晶, 山部清子, 富岡治明: マクロファージ内局在 MAC 菌に対する抗菌薬の抗菌活性発現に及ぼす漢方薬あるいはキチン・キトサンの効果. 第 81 回日本結核病学会総会, 仙台, 2006 年 4 月.

29) 清水利朗, 佐藤勝昌, 富岡治明: [シンポジウム] 抗酸菌感染症の免疫補助療法. 第 81 回日本結核病学会総会, 仙台, 2006 年 4 月.

30) 清水利朗, 佐藤勝昌, 富岡治明: ピコリン酸によるマクロファージの抗 MAC 活性増強作用の発現メカニズムにおける遊離脂肪酸の役割. 第 81 回日本結核病学会総会, 仙台, 2006 年 4 月.

31) 富岡治明, 清水利朗, 佐藤勝昌, 山部清子: 難治性抗酸菌症の治療のための新レジメンの開発に向けての漢方薬, 健康食品(プレバイオティクス), プロバイオティクスの利用に関する研究. 平成 18 年度中四国乳酸菌研究会総会, 岡山 2006 年 5 月.

32) 富岡治明, 清水利朗, 多田納 豊, 山部清子: 小結節・気管支拡張型 MAC 症の成因に関する研究: 起炎 MAC 菌の性状について. 第 35 回結核・非定型抗酸菌症治療研究会, 東京, 2006 年 6 月.

33) Tomioka H, Shimizu T, Cai S: Profiles of *Mycobacterium avium* complex-induced immunosuppressive macrophages mediated suppression of T cell and B cell mitogenic responses. Cytokine 2006 Joint Conference of the ISICR, Vienna, August 2006.

34) Tomioka H, Shimizu T, Sano C, Yamabe S, Hiraki M: Effects of various

immunomodulators on the antimicrobial activity of clarithromycin in combination with rifampin against *Mycobacterium avium* complex within macrophages. Cytokine 2006 Joint Conference of the ISICR, Vienna, August 2006.

35) 清水利朗, 多田納 豊, 山部清子, 富岡治明: ピコリン酸の抗 *Mycobacterium avium* complex 活性の発現メカニズム. 第 59 回日本細菌学会中国・四国支部総会, 山口, 2006 年 10 月.

36) 多田納 豊, 清水利朗, 山部清子, 富岡治明: 小結節・気管支拡張型 *Mycobacterium avium* complex (MAC) 症の起炎 MAC 菌のマクロファージ内増殖能について. 第 59 回日本細菌学会中国・四国支部総会, 山口, 2006 年 10 月.

37) 清水利朗, 多田納 豊, 蔡 杉杉, 富岡治明: ピコリン酸の抗 *Mycobacterium avium* complex 活性の発現に及ぼすキナクリンの併用効果. 第 76 回日本感染症学会西日本地方会総会, 岡山, 2006 年 11 月.

38) 多田納 豊, 清水利朗, 蔡 杉杉, 富岡治明: *Mycobacterium avium* complex 症に対するマクロファージ内殺菌系に及ぼすピコリン酸の影響. 第 76 回日本感染症学会西日本地方会総会, 岡山, 2006 年 11 月.

39) 富岡治明, 清水利朗, 多田納 豊: ピコリン酸の抗 MAC 抗菌活性(第 2 報). 第 36 回結核・非定型抗酸菌症治療研究会, 東京, 2006 年 12 月.